



— 主題 —

- 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」 廣瀬一雄
 EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 濱 浩一
 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よしで、みんな笑顔」 大野智慧
 西日本区理事 「未来への挑戦」
 「羽ばたこう！2022年ウィズ100周年に向かって！」 新山兼司
 アジア会長 「100年を超えて変革しよう」
 スローガン「健康第一」 大野 勉
 国際会長 「世界とともにウィズメン」
 スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」 Kim Sang-Chae

2021年
10月

882号
(75期4号)

10月 西日本区強調活動
BF : BFの意味を学び国際奉仕団体の一員であることを自覚しよう。
 深谷 聡 国際・交流事業主任 (名古屋クラブ)

西宮ウィズメンズクラブ 10月第一例会

日時：10月8日(金)18:30~20:00(ZOOM併用)
 場所：西宮 YMCA 3F会議室
 ドライバー：足立康幸ㄹ、丸山悦治ㄹ、山本常雄ㄹ

1 開会点鐘	廣瀬会長
2 ウィズソング	一同
3 ゲスト紹介	廣瀬会長
4 今月の聖句	浅野メン
5 開会祈禱	小野メン
6 講演	芝川又美氏(千島土地(株)会長)

テーマ：『備えられた道』
 ==これまでの歩みを振り返って==

7 お誕生日お祝い	
8 ウィズニュース	廣瀬会長
9 YMCAニュース	藤田担当主事
10 閉会点鐘	廣瀬会長

HAPPY BIRTHDAY (8~10月:9名)
 8/18 清水則裕ㄹ 8/19 馬場一郎ㄹ
 9/1 岩田健司ㄹ 9/6 丸山美巴ㄹ
 9/17 宮地京子特別ㄹ 9/21 岡田佑一郎ㄹ
 10/2 重村仁ㄹ 10/9 西山茂夫ㄹ 10/9 廣瀬敦子ㄹ

今月の聖句
 「サウル(パウロの旧名)、サウル。なぜ私を迫害するのか」と呼びかける声を聞き、盲目となった。すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウルは元どおり見えるようになった。そこで、身を起こして洗礼を受け、食事をして元気を取り戻した。
 使徒行伝9章18-19節 浅野純一メン選
 9月出席状況 (在籍会員数 22名)

第一例会 (10金)	第二例会 (24金)
メン 15名	メン 12名
メネット 0名	メネット 0名
ゲスト 4名	合計 12名
MU 0名	
合計 15名	出席率 68.2%

ファンド	9月	累計
ニコニコファンド	¥0	¥6,000
BF@300	¥0	¥4,500
震災支援@200	¥0	¥3,000

主役員
【会長】 廣瀬 一雄 **【直前会長】** 万本 敬一 **【副会長(次)】** 濱 浩一 **【副会長】** 石井 恭子
【書記】 小野 勅紘, 山口 吉郎 **【会計】** 重村 仁, 濱崎 進一 **【監事】** 阪根 新, 山口 政紀
【EMC主査】 濱 浩一 **【LD委員】** 馬場 貴英 **【組織検討安全対策委員】** 山口 吉郎 **【担当主事】** 藤田 良祐

会長メッセージ

会長 廣瀬一雄メン



9月25日(土)に六甲部会が須磨寺寿楼臨水亭で催される予定でしたが急遽ズームでの開催となりました。クラブ紹介では写真データを部会担当に送付する準備をしていましたが、山田実行委員長が西宮クラブのブリテンやHPからバナー写真を加工してくれていました。当日は1時間前からアクセスできたので、メネットが参加できるように自宅PCをセットしてから西宮Yに出かけました。主査報告では濱メンが登場しましたし、多くの皆さんの参加が確認できました。

9月10日(金)18:30~から第一例会ズーム&西宮Yでした。六甲部長の公式訪問として大野部長、水野書記、山田会計にはズームでの出席をいただきました。当日のビジターは大野アジア太平洋地域会長が。ドライバーの万本メンは西宮Yに、も一人のドライバー石井さんはズームでの出席。なんと一年半ぶりとか。

アットホームでの出席のメンも西宮Yに出席のメンもゲストの皆さんと交歓のひと時をもつことができた楽しい例会でした。(写真は例会直前のゼット風景)



聖句に寄せて

浅野純一メン

「サウル(パウロの旧名)、サウル。なぜ私を迫害するのか」と呼びかける声を聞き、盲目となった。すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウルは元どおり見えるようになった。そこで、身を起こして洗礼を受け、食事をして元気を取り戻した。
(使徒行伝9章18-19節) (今月の聖句)

▽「目から鱗がおちる」ということ言葉があります。その由来となったのが、使徒(しと)行伝(ぎょうでん)のこの一節です。パウロはパリサイ派の有力な律法学者で、広がりをもせていたキリスト教徒の迫害に熱心でした。

パウロはダマスコ(今日のシリアの首都ダマスカス)のキリスト教徒を捕まえてエルサレムに連行する目的のために出かけました。ところが、突然、天からまばゆい光が照り、パウロの身に、一つの異変が起きました。……パウロは突然盲目になりました。そして、先に掲げたイエスの声を聴くのです。

エリートであったパウロの生涯ではじめての挫折です。かれは三日間、食べも飲みもしませんでした。やがてダマスコにいたアナニアという人が、彼の目をあけるためにやって来ました。アナニアがパウロの上に手をおくと、パウロの目から鱗(うろこ)のようなものが落ちて、彼の目は再び見えるようになりました。パウロのキリスト教徒への回心です。彼はヘレニズム世界(ギリシア・ローマ文化圏)に熱心に伝道を行い、キリスト教が世界の宗教になる礎を築きました。



9月第一例会報告

ドライバー 万本敬一・石井恭子

西宮クラブ初のハイブリッド例会を9月10日に行いました。「ハイブリッド例会!？」と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、会場での参加も、オンラインでの参加もできる例会です。西宮YMCA(会場)での参加者は、廣瀬メン・浅野メン・岩田メン・小野メン・重村メン・濱崎メン・藤田メン・万本メン・山本メンの9名で、zoomを使ったオンラインでの参加者は、馬場貴英メン・濱メン・丸山メン・山口政紀メン・山口吉郎メン・石井の6名でした。



また、六甲部部長の公式訪問例会で、大野智恵 部長・水野雄二 書記・山田滋己 会計が、大野勉 アジア太平洋地域会長が、オンライン(zoom)でご参加いただきました。皆さん、zoomでの例会に慣れておられ、西宮クラブがハイブリッドで例会を開催したことを、喜んでくださいました。

例会は、ドライバーの万本メンが司会進行を務めてくださり、最初に六甲部役員さんからお話しいただいて、次にオンライン参加者、続いて会場参加者の順に近況など、水野さんが西宮YMCA館長時代の懐かしいお話から、直近のオリンピックの話題まで、様々なお話しが聞けました。初の試みに、西宮クラブにはそぐわないのでは、との心配もありましたが、約1年ぶりに例会に参加できたり、足の状態でzoomは有り難い、普段会えない人の顔が見れるなどのメリットもあり、概ね好評の感想を頂きました。

緊急事態宣言下でしたが、オンラインを取り入れることで、ご参加いただきました多くの方の顔を拝見でき、有り難く思いました。初のオンライ

ンに不安でしたが、藤田メンにリハーサルからオンラインのご準備のお世話をいただき、無事に開催できました。今後もハイブリッド例会は開催されることと思いますので、西宮YMCAに来られない時は、ぜひオンラインで繋がってくださいませ。



閑話休題

小野勅紘メン

・緑陰に 尾張訛りの 愚痴を聞く

10年ほど前に名古屋の能楽堂で西日本区大会が開催された時のことである。むしむしする堂内から休憩で一旦外に出た。庭の木陰でスタッフらしき方々がタバコを吸いながら談笑していた。漏れてきたのはこんな愚痴。「ほんとうによ、たわけじゃないかのう?600人定員に1000人集めようってのはよう・・・」と。ただ僅かに頬が緩んでいたのを覚えています。その数か月前に成瀬理事が鬼籍に入られていたが、彼の地で苦笑されておられるのやら?

YMCA ニュース

担当主事：藤田良祐

9月は緊急事態宣言下ということもあり、西宮クラブでも Zoom を使用したオンライン例会にチャレンジしました。YMCA でも昨年2月のコロナ感染拡大以降、Zoom を使用した会議やミーティングが中心となりましたので個人としてオンライン会議に出席することには慣れてはいましたが、カメラやマイクをセットして例会の様子を発信することは初めての経験でしたので苦労もありました。色々と配線を考え、マイクやカメラの位置を調整し、思ったよりも準備に時間がかかりましたが、オンラインを通して久しぶりに例会へ参加して下さった方々もいっしょり、対面とオンラインの併用による例会開催の可能性を感じました。これからも対面での例会開催を基本としながらも Zoom による発信を併用することを見越して、西宮クラブとしてマイクスピーカーを購入していただきました。オンラインだけでは十分なコミュニケーションが図れないことは確かかも

もしれませんが、対面でのコミュニケーションを補完するための手段としてオンラインも活用していくことが出来ればと思います。



1. 国際協力募金スタート

2021年度のYMCA国際協力募金の活動がスタートしています。国際協力募金については、10月1日に発行された「KOBE YMCA News」にも特集が組まれ詳細が記されています。昨年度のYMCA国際協力募金には全国で約3,514万円が寄せられ、世界120の国と地域にあるYMCAのネットワークを活かして、コミュニティ支援・教育支援・難民支援・災害支援などの活動に用いられました。日本国内でも長引くコロナの影響で多くの方々が困難な中におられる状況ですが、世界中にはコロナであろうとなかろうと支援を必要としている子どもたちや家族がいることを覚えて国際協力

募金を進めていきたいと思えます。例年12月に行っている街頭募金活動はコロナの影響を鑑み中止としましたが、皆さまのお心を国際協力募金にお寄せいただければ幸いです。神戸YMCA寄附サイトでは、クレジットによる募金も受け付けています。

<https://kifu-kobeymca.org/fund/fundraising/>



2. 西宮YMCAカーニバル

今年もコロナ影響により西宮YMCAカーニバルは中止とさせていただきました。飲食を伴う不特定多数の方々が出入りするイベントは感染リスクが高いと判断せざるを得ませんでした。その代替プログラムとして、保育園では卒園した子どもたちを対象に園庭でゲームコーナーにチャレンジするプログラムを行います。また、11月にはファミリープログラムとして感染症対策を行いながらも地域の家族が集えるプログラムを若手職員、ユースリーダーを中心に計画中です。詳細は改めてお知らせさせていただきます。(写真は昨年のファミリープログラムです。)



ワイズニュース

【今後の予定】

10月8日（金）第一例会 ZOOMハイブリッド

10月11日（月）デジタル小委員 石井メン

10月21日から23日 ジャガイモ配達

10月25日（月）記念植樹実行委員会 廣瀬メン

10月29日（金）10月第二例会 15:00～

※日程が変更になってます。

11月12日（金）第一例会 井上総主事

9月第二例会 抜粋記録

- ・20-21 年度積立会計決算報告&監査報告 承認。
- ・記念植樹は、六甲部全体計画に参画する。
- ・じゃがいもファンド
計675箱(J450K75 3種 150)注文(9/10)
21日午前神戸着。23日午前までに引取・配達。
- ・記念植樹は、六甲部全体計画に参画する。
- ・ZOOM 会議用にスピーカーフォンを購入する。



<編集後記> プリテン委員長 山口吉郎

今月から緊急事態宣言は解除となりましたが、引き続きコロナに対して要注意の生活が続きます。長い自粛生活が続くなか、パソコンに向かう頻度が以前よりも多くなっている気がします。便利なツールですが、どっぷりはよくありません。これからは出来るだけ立ち上げないで、デジタル・デトックスを実行したいと考えているこの頃です。